

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## デンマーク王国

### 【据置】

外貨建長期発行体格付	AAA
格付の見通し	安定的
自国通貨建長期発行体格付	AAA
格付の見通し	安定的

### ■格付事由

- 格付は、多様で高度に発展した経済基盤、堅実な財政運営の実績、対外ショックに対する堅固な耐性などを評価している。格付の見通しは安定的である。フレデリクセン内閣は、堅実な財政運営を続けつつ、気候変動対策や防衛力の増強などに注力している。24年は主に財・サービス輸出にけん引され2%超の底固い成長を確保し、中期的にも安定した経済成長を続けると思われる。政府は中期的に防衛費を拡大しつつも歳出抑制を適切に図り、財政の健全性を維持するとJCRはみている。
- 一人当たりGDPは約7.9万米ドル（購買力平価ベース、23年）と高く、医薬品、機械機器、海運、食品など多様で国際競争力の高い産業を擁する。EU加盟国であるが、ユーロ導入は適用除外（オプト・アウト）が認められている。ユーロにペッグする固定相場制は経済政策のアンカーとして機能し続けると思われる。24年は医薬品や海上輸送といった財・サービス輸出が寄与するほか、インフレ収束に伴う個人消費の回復もあり、2%超の成長を遂げるとみている。中期的には内需主導で1~2%程度の安定成長を続けると思われる。
- 政府財政はコロナ禍やロシアによるウクライナ侵攻後のエネルギー危機などの時期も含め、健全性を維持してきた。歴代政権は、高齢化の進展に伴う労働力人口減少や社会保障関連支出の増加などを視野に入れ、社会保障制度改革を実施している。今後も一部の早期退職制度の最低年齢や一般年金の受給開始年齢の引き上げなどを予定している。これらの改革は、労働力確保の一助になるだけでなく、財政負担の軽減効果を継続的にもたらすとみられる。NATO加盟国として防衛費を拡大しつつも、その他の歳出の抑制を適切に図ることで一般政府財政収支は24年にGDP比約2%の黒字となり、25年以降も黒字基調を維持すると思われる。また、一般政府債務も同30%程度で推移し、健全な財政状況が続くとJCRはみている。
- 対外ショックに対する耐性は引き続き堅固である。高い産業競争力を背景とした貿易黒字に加え、対外債権にかかる利子、配当金受け取りに伴う所得収支黒字も、恒常的に高水準の経常黒字に寄与している。23年末の対外純資産残高はGDP比50%近くに上っており、今後も対外純債権国としての地位を維持すると思われる。他方、銀行部門は不良債権比率を低位にとどめつつ相応の利益を確保しており、金融システムは総じて安定している。24年6月末時点の銀行部門の不良債権比率は1%未満、Tier1自己資本比率は20%超と、ともに良好な水準であった。

（担当）堀田 正人・山本 さくら

### ■格付対象

発行体：デンマーク王国（Kingdom of Denmark）

### 【据置】

対象	格付	見通し
外貨建長期発行体格付	AAA	安定的
自国通貨建長期発行体格付	AAA	安定的

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2024年11月26日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：杉浦 輝一  
主任格付アナリスト：堀田 正人
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「ソブリン・準ソブリンの信用格付方法」(2021年10月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) デンマーク王国 (Kingdom of Denmark)
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
  - ・ 格付関係者が公表した経済・財政運営方針などに関する資料および説明
  - ・ 経済・財政動向などに関し中立的な機関が公表した統計・報告
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、発行体または中立的な機関による対外公表という、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 非依頼格付について：  
本件信用格付は格付関係者からの依頼に基づかない信用格付である。国に対する信用格付である場合を除き、依頼に基づく格付と区別するため格付記号の後に「p」を表示している。格付関係者からは、信用評価に重要な影響を及ぼす非公表情報を入手していない。
10. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
11. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいで行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

## ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル